

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」金沢横川校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		児童一人に対し、指導員が一人マンツーマンでついている為、児童一人のスペースを区切って支援を提供している。	パーティションを用いて児童一人の専用スペース区切ったり、児童の年齢・体格に合わせ机や椅子、マットを使い分けている。
	②	職員の配置数は適切である	○		関係法令に則った職員配置をしている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		玄関から室内、トイレに至るまで段差等は一切なく、バリアフリー化されている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		換気や空気清浄機に加えサーキュレーターを児童のスペース毎に設置している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		研修・ミーティングを定期的で開催している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート以外に毎回の支援後に保護者様と話し合い意見や児童の最近の様子を聞き取る時間を設けている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎回の支援後に保護者様と話し合い意見や児童の最近の様子を聞き取る時間を設けている。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は実施していないが、今後実施に向けて検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月 1 回以上の研修や法人全体研修も実施している。	
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメント以外に園や他事業所、病院・クリニックや支援センターからの情報も収集し活用している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人内で標準化され、随時更新されている。	

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインを基に日々の活動プログラムと照らし合わせて内容設定を行っている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に沿った個別の支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全員でモニタリング・ミーティングを行い立案している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々のこどもの成長に合わせて更新している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		メインの個別支援と小集団のイベントを組み合わせて作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼や終礼時にミーティングで打合せ・確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		全体共有事項を報告し、意見交換と情報共有を行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録を残し、支援の質の向上に役立てている。	
関係機関や保護者との連携	⑲	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		最低6ヵ月に一度、定期モニタリングを実施し、計画見直しを行っている。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		全職員で担当者会議を行い、児童発達支援管理責任者が参画している。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		様々な関係機関と連携を密に支援を行っている。	
	㉒	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		現在、該当利用児はいないが医療機関との連携・連絡体制は整備されている。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在、該当利用児はいないが医療機関との連携・連絡体制は整備されている。	
	㉔					

	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報収集・情報提供・情報共有に最大限努めている。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報収集・情報提供・情報共有に最大限努めている。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援管理責任者を中心として積極的に連携を行っている。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		小集団イベントの際は参加する事もある。	
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		積極的に参加をしている。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日頃から保護者様と密に児童の状況を話し合い、共通理解を持っている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		事業所内においてペアレント・トレーニングは実施していないが関係機関の紹介・社会資源等の情報提供を積極的に行っている。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に実施している。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		「児童発達支援計画」を提示し、説明を行い、同意を得ている。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要時だけでなく、普段の関わりの中から必要な助言や情報提供を行っている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		協力体制にある会の情報提供やママカフェや小集団イベントの際に、保護者同士の繋がりを支援している。	現在はコロナ禍の為、ママカフェ等は自粛し、保護者様2名程度の連携・紹介に留めている。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		要望があった際はもちろん、事業所側からも必要に応じて提案や相談を行い様々な情報提供を行っている。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログを定期的に更新し、情報発信を行っている。	

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報関係は鍵付き書庫に保管し、取り扱いには社内ルールを適用している。	事業所職員内での必要な情報共有であっても、共有方法には十分配慮を行う。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		児童一人一人の特性や保護者様に合わせて対応している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		イベント案内を地域以外にも行っている。子ども会や町会行事にも参加する様にしている。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員周知はもちろん、保護者様に対してはポスター・チラシにて掲示している。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月一回避難訓練(地震・火災等)を行い、年二回は児童参加型で実施している。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメント時に状況確認を行っている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		対応は常時可能であるが、飲食物を提供していない。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		実施・共有をしている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		内部・外部研修、県主催の研修に参加している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		社内マニュアルにやむを得ない場合の対応は明示しているが、身体拘束は実施していない。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」金沢横川校

保護者等数（児童数）：8 回収数：6 割合：75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1	4			身体を動かす遊びをする際は少し狭く感じる事があります。	運動療育を行う場合は周囲に配慮をした上で安全なスペースを確保して行わせて頂きます
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1			まだ幼児なので興味のあるものがあるだけで嬉しい様子。 入口はバリアフリーである。	お子様の興味のあるものを支援に積極的に取り入れて療育を行っていきます。 事業所内はフロアからトイレまでバリアフリーとなっております
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	2				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5			1		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1			契約時ではなく通い出してから のモニタリングと修正等がまだありません。	利用後6ヶ月を目安にモニタリングを行っております。 お子様の状態によっては必要に応じてモニタリングを早期に行っております。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	1	2		
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5			1	通い出してモニタリングを見た事がない。	モニタリングとは別に「児童発達支援計画」を提示して説明を行わせて頂いております。 また、担当相談員変更の際はご連絡をお願い致します。

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	0	3	2	1		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	1				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	3		1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	5			
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	2		1	相談内容が他保護者に聞こえない様にして欲しい。	フィードバックの時間帯が同じ様な時間帯になる為、配慮はしていましたが、今後はより周囲に重々配慮をさせていただきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	0	3	1	2		
非 常 時 等 の 対 応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5			1	利用していない兄弟の話の取扱いを注意して欲しい。	職員間の情報共有について今一度注意喚起を行います。
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2			4		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3			3		
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1			家で休みたい時には渋る時もあるが行ってしまえば楽しんでい様です。こどもは楽しい様子でまた行きたいといつも言います。	今後もお子様が楽しんで通える支援内容を日々研鑽して参ります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6				こどもが行きたがる場所として継続して欲しい	今後もお子様が楽しみながら成長・発達出来る療育を行って参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。